

2021年度 事業計画（案）

- 1) 支承の性能向上を図ると共に条件に合った標準化を進め、広範囲なニーズに対応可能な支承の開発を進める。
- 2) 災害復旧に即時即応可能な支承構造の開発
- 3) 維持・補修の簡便な支承の研究開発に努める。
- 4) 「支承の若返り工法」の品質や機能の向上を図り、当工法の普及拡大を図る。
- 5) 支承技術に関する広報活動を積極的に展開し協会の社会的認知を高めるよう努める。
- 6) 支承等の点検・維持・補修の保全技術の統一基準を図り、関係者育成のための講習会等をネット配信で実施する。
- 7) 伸縮継手の耐久性、漏水防止、防音性能、補修方法等の開発を進め、環境保全への貢献を図る。
- 8) 新技術（インテリジェント支承、支承部品落下防止対策）他を広め、事業として継続可能に務める。
- 9) 新規会員の加入を計る為、入会基準等を見直し協会の運営基盤の安定化を図る。
- 10) 橋梁調査会、道路協会、土木学会、土木研究所、寒地土木研究所、NEXCO、都市高速会社、ゴム支承協会との関係を緊密にし共同研究等により技術の向上を図る。
- 11) 会議開催については①三密を避けて行う。②ネットワークによる開催に不都合が無い限り切り替える。
- 12) 協会OBとの意見交換の場を設け協会活動の連続性を図る。
- 12) 一般社団法人として、公益事業並びに収益事業を推進し、長期にわたり継続可能な体制を整備する。

2021年度収支予算書(案)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

単位：千円

科 目	予 算 額	2020年予算額	増 減	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	31,571	31,472	99	
②講習会収入	1,000	6,000	△ 5,000	
③支承調査収入	0	0	0	
④共同研究事業収入	10,671	100	10,571	
⑤雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	43,242	37,572	5,670	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	[24,079]	[27,230]	[△ 3,151]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,866	2,860	6	
福利厚生費支出	240	240	0	
退職給与引当金支出	150	0	150	
調査研究費支出	4,800	6,520	△ 1,720	
資料購入費支出	450	457	△ 7	
会議費支出	954	954	0	
印刷製本支出	0	0	0	
旅費交通費支出	2,050	2,050	0	
委託費支出	0	0	0	
刊行物発行費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	918	918	0	
諸会費支出	280	360	△ 80	
その他行事費支出	0	1,500	△ 1,500	
講習会開催支出	4,000	4,000	0	
広告費支出	1,379	1,379	0	
支承PR費支出	1,160	1,160	0	
賃借料支出	3,672	3,672	0	
交際費支出	400	400	0	
消耗品費支出	210	210	0	
雑費支出	50	50	0	

単位：千円

科 目	予 算 額	2020年予算額	増 減	備 考
②管理費支出	[16,588]	[11,156]	[5,432]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,866	2,866	0	
福利厚生費支出	618	618	0	
退職給付引当金支出	100	0	100	
会議費支出	590	890	△ 300	
旅費交通費支出	50	50	0	
委託費支出	160	150	10	
通信運搬費支出	592	590	2	
消耗品費支出	260	260	0	
印刷製本費支出	380	210	170	移転に伴う費用
総会費支出	400	800	△ 400	
賃借料支出	8,172	3,672	4,500	移転に伴う費用
租税公課支出	200	200	0	
交際費支出	0	200	△ 200	
減価償却費	50	50	0	
雑費支出	1,650	100	1,550	移転に伴う費用
事業活動支出計	40,667	38,386	2,281	
事業活動収支差額	2,575	△ 814	3,389	
Ⅱ 投資活動支出の部				
什器備品費支出	0	0	0	
退職給与引当資産取得支出	0	0	0	
Ⅲ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	2,575	△ 814	3,389	
前期繰越収支差額	15,258	16,072	△ 814	
次期繰越収支差額	17,833	15,258	2,575	